

アクティブ・ラーニングとは？

“アクティブ・ラーニング”とは、“課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ”課題解決型の学習であり、教育旅行や校外学習等ですでに「グループ別自主見学」、「グループ自主研修」などの形で取り入れられています。

- － 「生徒自身がテーマ」を定め、それに沿った「行動計画」を立て、
「事前に調査」し、「行動」し、グループ別に「話し合って結果をまとめ」、
「発表する」－

このような経験をもつ教育旅行は、アクティブ・ラーニングを実践する格好の場です。

また、文部科学省の新学習指導要領が求める学習過程の改善として、以下のようにアクティブ・ラーニングの視点を取り入れられています。

【文部科学省】主体的・対話的で深い学びの実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習過程の改善）について

「アクティブ・ラーニング」の3つの視点 からの学習過程の改善

習得・活用・探究の見通しの中で、教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容の深い理解につなげる「深い学び」が実現できているか。

👉 教育旅行における**事前学習**の重要性

子供同士の協働、教師や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

👉 教育旅行における**現地学習**の重要性

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

👉 教育旅行における**事後学習**の重要性

育成すべき資質・能力

生きて働く**知識・技能**の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等
の育成

学びを人生や社会に生かそう
とする**学びに向かう力・人間性**
の涵養